

県感染症情報センター

海外旅行中に注意すべき感染症〈下〉

声なき 感染症を知る ◆14◆

今回は、特定地域で発生している感染症と、渡航前の予防接種について紹介します。

▽中国の鳥インフルエンザH7N9

世界保健機関(WHO)は2013(平成25)年4月に、中国・上海市でH7N9型と呼ばれる鳥インフルエンザウイルスが、ヒトに感染したことを発表しました。

その後、感染者は中国沿岸部の広東省、江蘇省、福建省、湖南省を中心に急速に拡大し、600人を超える感

トナイル熱 ウエストナイル熱とは、ウエストナイルウイルスを原因とする感染症で、ウイルスを持った蚊(俗にイエカやヤブカ)がヒトを刺すことで感染が成立します。

症状は発熱、頭痛、背部痛、発疹(ほっしん)などで、多くは1週間程で自然回復するのですが、高齢者などでは稀(まれ)に、髄膜(すいまく)炎や脳炎症状に移行することがあり、死に至ることもあります。

これまでアフリカ、ヨ

出ています。蚊に刺されないよう、長袖着用や虫よけスプレーなどを心掛けることが大切です。

▽渡航前の準備としての予防接種

渡航者にとって必要な予防接種は、渡航地、滞在期間、また何をするかによって異なってきます。

まず、渡航先、滞在期間が決まると、現地の感染症情報を収集し、どの予防接種をするかは検査所に相談してください。予防接種の種類によつては数回(2~3回)接種する必要があり、また免疫を獲得するまでに期間を要することなどから、早い準備をお勧め

現地的情報を収集 渡航前に予防接種

染者と200人以上の死者を出すことになりました。翌年の春には鎮静化していたのですが、秋ころから再び患者が確認され、今なお断続的に発生しています。

WHOは、鳥インフル

エンザが発生している地域への渡航に際しては、①養鶏場への立ち入り ②生きた家禽(かきん)類(アヒル、ニワトリ、ガチョウ、ウズラ)を取引する市場での動物との接触 ③それらの動物を解体する場所や動物の排泄(せつ)物で汚染された場所への立ち入りの3点を避ける助言を行っています。

▽北米全域のウエス

ヨーロッパなどの風土病として知られていたのですが、1999(平成11)年にアメリカ・ニューヨーク市で、全米初の患者が確認されました。

その後、相次いで患者が報告され、同時に多数のクラスが死亡するなど、大きな社会問題となりました。流行は現在も続いており、今ではカナダを含む北米全域に拡大し、毎年多くの患者や死者が

【海外で流行の感染症と予防接種】

Table with 4 columns: 感染症, 流行地, 感染経路, 注意点. Rows include 下痢症/A型肝炎/オーストラリア熱, インフルエンザ/結核/流行性髄膜炎, マラリア/デング熱/チクングニア熱/日本脳炎, 狂犬病, 破傷風.

(厚生科研、新興再興感染症研究事業の班研究資料から抜粋)

第2木曜日掲載